

# 「フレンホーフエル効果 ——『知られざる傑作』の魅惑」

フレンホーフエルという老巨匠をめぐるバルザックの中篇『知られざる傑作』は、美術史上のある変容を捉えた19世紀フランス小説でありながら、17世紀ヨーロッパから20世紀アメリカ、そして現在においてもきわめて現代的であるという怪物的な「傑作」である。その現代性が後世の芸術家、作家、批評家、思想家にもたらした作用を「フレンホーフエル効果」として探してみたい。

講師：郷原 佳以 氏

## 【講師プロフィール】

1975年、東京生まれ。パリ第7大学大学院博士課程修了。  
現在、東京大学大学院総合文化研究科准教授。  
著書に『文学のミニマル・イメージ モーリス・ブランショ論』（左右社、2011年）など。

\* 日 時：1月15日（金）～2月15日（月）  
期間限定配信どなたでもご視聴いただけます。

\* URL（前半）：<https://commons.i.muc.meiji.jp/em/5fffe31bbfb40>  
（後半）：<https://commons.i.muc.meiji.jp/em/5fffe1ca9e3be>

資 料① フレンホーフエル効果

<https://www.meiji.ac.jp/humanity/info/6t5h7p00003a9zm7-att/6t5h7p00003a9zpn.pdf>

資 料② ミシェル・セール「ノワズウな美女」抜粋

<https://www.meiji.ac.jp/humanity/info/6t5h7p00003aa55b-att/6t5h7p00003aa58r.pdf>

コーディネーター：岩野卓司 法学部・教養デザイン研究科教授